



毎度お世話になっております。株式会社シロクマです。早いもので今年もいつの間にか師走、1年を振り返る時期になりました。日本の観測史上最大規模となった東日本大震災が巨大な爪跡を残した1年でしたが、大阪では40年ぶりの知事・市長ダブル選挙が高い関心を集めました。都構想は未知数ながら、誰もが小手先ではない変革を求めていることは確かです。

## 今月のホット情報

## 日本で一番の品ぞろえ！おしゃれな棚グリップ<sup>PAT.P</sup>と棚板が豊富に



壁面やコーナーを利用して、さまざまなモノを載せたり、飾ったりする時に欠かせないのが棚板です。「見せる収納」の一つでもあり、室内空間をおしゃれに演出するインテリアのポイントともいえるでしょう。

シンプルな棚板を引き立てる名脇役として、忘れてはならないのが棚グリップ。小さな部材ではありますが、キラリと光るアクセントになりますので、十分吟味していただきたいところです。シロクマは亜鉛ダイカストと真チウウの2素材で、49アイテムもの棚グリップを展開しています。

さりげなくおしゃれなデザインとシルバー、AG、黒艶消、白艶消、クローム、ホワイトブロンズ、純金などのカラーバリエーションが、棚板に洗練された表情を持たせます。

TG-1～TG-10は取付け時にテーパ長穴が仮固定でも、棚板が下にズレないように工夫。また、棚板抜け止めビスをセットすることで、万が一棚板固定用ビスが緩んでも棚板が簡単に抜け落ちない安心設計です。

シロクマでは「シェルフボードシリーズ」として、ゴム集成材、ステンレス、強化ガラス、アクリルの4素材で棚板もご用意。集成材はアイボリー、ライトオーク、ミディアムオーク、ダークオークの4色がそろいます。ステンレスは片面がヘアライン仕上げ、片面がバイブレーション仕上げなので、お好みに合わせて使い分けていただけます。サイズバリエーションも豊富で、全94アイテムの中から自由にお選びいただけます。

一般住宅だけでなく、店舗のディスプレイ什器としても、是非ご活用ください。



## オススメ書籍紹介

### 『考具』 加藤昌治著 TBSブリタニカ刊

「考えるための道具、持っていますか？」というのがサブタイトル。企画ポジションの人間でなくても、我々は仕事を進めていく上で、常に「考えてアイデアを出す」ことを求められています。著者は「アイデアを搾り出す際の手法」を「考具」という言葉で表現し、「考具」を手に入れば、我々のアタマとカラダが「アイデアの貯蔵庫」「企画の工場」に変わると説きます。

博報堂の現役プランナーである著者が実際に利用している21種類の「考具」をまとめ、その使い方などを具体的に解説した実践的な内容になっています。「丸腰では仕事はできない」というのが著者からの提言。明日から使えるヒント満載の実用書です。1,575円。

